

事業概要【社会・経済状況の変化に適應する「とくしま農林水産業」生産力強化戦略】

申請者	徳島県ほか 5 自治体※					初回採択回	令和 3 年度第 1 回募集
事業計画期間	R3-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,028,757千円 (203,810千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・広域的な産地間連携等による園芸産地の再編・強化や、先端技術を活用した超省力化・高品質生産の実装等による生産性の向上を図る。 ・気候変動に適應した新品種・新技術の開発・普及に取り組む。 ・状況の変化に対応した新たな販売戦略を構築する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 農林水産物の生産性向上の促進、気候変動等環境変化への適應策の推進、状況の変化に対応した新たな販売戦略の構築などに取り組み、本県農林水産業の生産力強化を図る。 【ソフト事業経費】 スマート技術の導入推進や、広域的な産地間連携に向けた栽培技術の統一等の体制づくりに取り組む。 ・スマート技術の導入や産地間連携の推進（委託料等）10,093千円 - 気候変動に適應した新品種・新技術の開発・普及、新たな品目の栽培技術等の開発に取り組む。 ・新品目の栽培技術開発（需用費等）20,915千円 - 多様な販売チャネルを活用した農林水産物の販売拡大に取り組む。 ・発信力の高い販売チャネルを活用したブランディング（委託料等）33,350千円					 阿波ふうど試食会商談  食の博覧会	
地域の多様な 主体の参画	県内の農林水産関係団体や高等教育機関等と連携して、気候変動への適應策に関する技術の実証や共同研究、生産者とのコーディネート、6次化商品の開発・販路拡大等に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額（+25億円） ②農林水産物の新品種・新技術の開発・導入数（+34件） ③とくしまブランド推進機構の関与した販売金額（+25億円） ④農林水産物等輸出金額（+9億円）

※徳島県、徳島市、阿波市、北島町、藍住町、板野町の広域連携事業

事業概要【ニューノーマル時代を切り拓く「転職なき移住」推進事業】

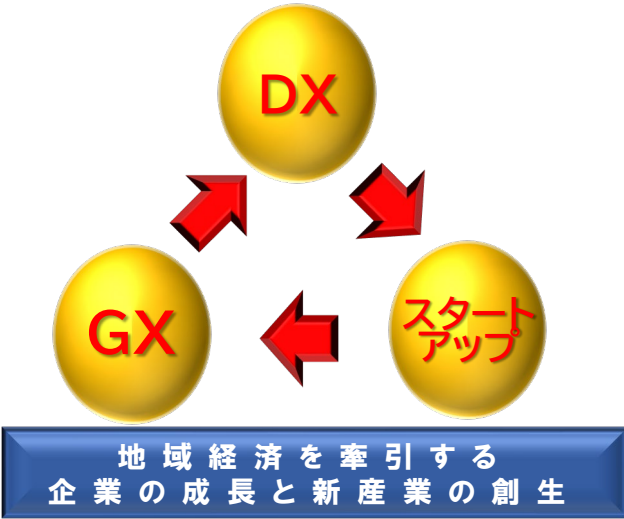
申請者	徳島県、美波町					初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	916,884千円 (193,300千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・「ワーケーション」や「副業・兼業」などの地域に継続的に関わっていただける人材の獲得を目指す。 ・若者世代をはじめとする移住者の拡大及び戦略的な移住交流の加速化を図る。 ・移住者の受け皿となる地域産業・人材の育成・暮らしやすい社会づくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 深化したライフスタイルの定着や、ニーズに応じた移住・交流支援の展開、ターゲットを絞った戦略的な魅力発信の加速化などに取り組み、移住者の増加及び未永い定住を促進し、活力ある地域づくりを目指す。 【ソフト事業経費】 ワーケーション、副業・兼業、二地域居住の定着に向けたデュアルスクールの実施を行い、更に深化したライフスタイルの提案・定着に取り組む。 ・デュアルスクールの実施（委託料等）3,125千円 移住と就業のマッチングをはじめ、移住希望者のニーズに応じた移住・交流支援に取り組む。 ・移住フェア・セミナー開催等（委託料等）41,328千円 SNSやウェブサイトを活用した若者目線の情報発信や、首都圏・大阪圏在住の方に向けた更なるU I Jターン関連の情報発信など、ターゲットを重点化した戦略的な魅力発信に取り組む。 ・各種メディアを活用した魅力発信（委託料等）8,861千円					 「とくしま若者回帰アンバサダー」 による地域の魅力体験  阿波（徳島）のいろんな魅力を 若者目線で発信	
地域の多様な 主体の参画	県内企業等と連携して、魅力的なワークライフスタイルの発信に取り組むとともに、県内の市町村教育委員会等と連携したデュアルスクールの受け入れなどに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 本県への年間移住者数＋準移住者数（＋1,030人） ② とくしまで住みたい会員数（＋500人） ③ 本県への本社機能誘致数（＋8社） ④ デュアルスクール実施回数（＋31回）

事業概要【「グリーン社会とくしま」の実現によるサステナブルな地域づくり推進事業】

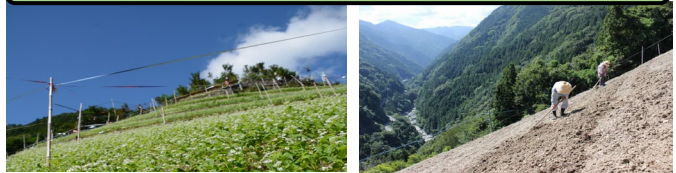
申請者	徳島県ほか7自治体※					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	452,692千円 (102,749千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・気候変動対策や脱炭素社会の推進に向けた普及啓発等を図る。 ・環境先進県としての取組に賛同する企業や人材等の集積・移住交流の推進を図る。 ・次世代の「グリーン社会」を担うGX人材の育成を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 自然エネルギー等導入に向けた普及啓発・広報活動や、GX推進に伴う県内外への魅力発信及び県外企業・人材等の誘致・交流促進、次世代GX人材育成確保に向けた環境教育などに取り組み、サステナブルで活力ある地域づくりを実現する。 【ソフト事業経費】 脱炭素社会実現に向けて、地域の企業・団体や住民等への情報発信及び普及啓発活動に取り組む。 ・普及啓発・広報活動等（委託料等）4,100千円 - 首都圏及び関西圏における集中的な魅力発信や、企業・団体向けの効果的なプロモーション活動の展開に取り組む。 ・首都圏等における魅力発信・広報活動等（委託料等）8,280千円 次世代GX人材育成確保に向けた環境教育等を実施する。 ・「とくしまGXスクール」等による環境学習・育成研修（委託料等）2,090千円						
地域の多様な 主体の参画	地域で活動する特定非営利活動法人等と連携して、普及啓発・広報活動に取り組むとともに、観光団体等と連携して、イベント実施などに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本県への年間移住者数＋準移住者数（＋1,588人） ②地域でのGX推進に向けた協働活動実践企業・団体数（＋24企業・団体） ③「とくしまエコパートナー」の協定締結企業・団体数（＋29企業・団体）

※徳島県、徳島市、三好市、阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町の広域連携事業

事業概要【2つのX（GX・DX）とイノベーション創出による徳島経済飛躍事業】

申請者	徳島県、徳島市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	773,082千円 (123,799千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・GX・DXによる本県企業の競争力強化を図る。 ・海外展開の促進によるグローバル市場の獲得に取り組む。 ・イノベーションの創出による地域活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 「シャパンブルー・徳島」を中核とした「カーボンニュートラル」実現に向けた取組、DXの促進による競争力の強化と海外展開支援、イノベーションの創出による産業振興などに取り組み、地域経済の活性化を目指す。 【ソフト事業経費】 これまでの研究開発により市場投入された製品について大規模展示会へ出展するなど、GX製品の販路拡大を通じてGXで稼ぐことができる企業の増加に取り組む。 ・大規模展示会への出展支援などの販路拡大支援（委託費等）22,050千円 「DX実装モデル企業」の創出に、海外バイヤーを中心に、デジタルコンテンツ等を活用したオンラインプロモーションなどに取り組む。 ・企業のDX推進と海外展開支援（委託費等）33,803千円						
地域の多様な 主体の参画	民間事業者等と連携して、DX導入や新技術開発、販路開拓に取り組むとともに、金融機関等と連携して、専門的助言や融資・ファンド等による支援などに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①徳島県の輸出額(中小企業分)の総増加額（+159億円） ②脱炭素社会に貢献する製品の試作品数（+50個） ③デジタルトランスフォーメーション（DX）モデル創出件数（+25件） ④コンテンツ産業関連企業の増加数（+75社・者）

事業概要【SDGs先進地域「にし阿波」における農泊観光推進プロジェクト】

申請者	徳島県ほか4自治体※					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	448,032千円 (94,824千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・SDGs先進地「にし阿波」での観光をきっかけとした関係人口・交流人口の創出を図る。 ・地域住民の観光関連事業等への参画を通してシビックプライドの醸成を図る。 ・農泊での地域住民との深い関わりによって、リピーターやにし阿波ファンを獲得し、移住や定住の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 SDGsを観光全体への取り組みに展開するための重要な受け皿としての「農泊」の充実、SDGsを活用した新たな国内外向け「旅行商品」のブラッシュアップ、シビックプライドの醸成を通じた人材活用などに取り組み、国内外からの交流人口・関係人口の増加を図る。 【ソフト事業経費】 国内外からの誘客を見据えた新戦略への展開等に取り組む。 ・新戦略への展開、進捗管理マネジメント（委託費）5,000千円 新たな国内外向け旅行商品の魅力向上や、国内外の商談会への出展による販売促進の強化に取り組む。 ・SDGsモデルコースへのブラッシュアップ、国内外の商談会展（委託費等）18,630千円 移住就農による地域産業の担い手の育成・活用に取り組む。 ・地域の養鶏業担い手育成に向けた「チキンファーム構想」推進（委託費等）3,134千円					体験型教育旅行の誘致・受入体制の充実など  にし阿波の農山村暮らし体験を コンテンツ化 「SDGs実践の地・にし阿波」の保全・継承など 	
地域の多様な 主体の参画	地元DMOや県内の高等教育機関、農業協同組合等と連携して、プロモーション活動の展開、課題の共有、改善提案などに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①にし阿波における農泊施設の延べ利用者数（+4,700人） ②にし阿波における国内延べ宿泊者数（+91,000人） ③にし阿波への移住者数（+100人）

※徳島県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町の広域連携事業

事業概要【3つの徳島県・地域連携DMOが協働する観光振興プログラム】

申請者	徳島県ほか7自治体※					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,097,358千円 (225,840千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・県民が本県の魅力を国内外へ発信することにより、多くの観光客が訪れ、観光産業が活性化され、雇用の創出や地域経済の活性化を促進する。 ・県産品や豊かな食を、観光と一体となって国内外に売り込み、「徳島ファン」の増加を図る。 ・四国の玄関口に位置する利点を活かした関西からの旅行訪問者の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関西を主要ターゲットとした周遊・滞在型観光の促進、「阿波の食」を核とした魅力発信とプロモーション、徳島ならではの観光資源の魅力発信やコンテンツ開発などに取り組み、地域経済の活性化を目指す。 【ソフト事業経費】 地元DMOと連携した関西と空からの玄関口・県東部圏への誘客促進や、旅行会社による観光バスを使った企画旅行商品造成に取り組み。 ・DMOと連携した誘客・周遊促進、旅行商品造成支援（補助金）30,000千円 県と市の連携による様々な媒体でのプロモーション活動に取り組み。 ・WEBプロモーション（委託料）1,300千円 「阿波おどり」、「DMV」、「アニメ」のほか、興味・関心の深化を図ってきた県産品や藍などを活かした民間主体のイベントを支援することにより、魅力的かつ持続的な観光誘客に取り組み。 ・民間主導イベントへの支援（補助金等）89,554千円 ※経費内訳はR7年度事業費					 阿波おどり  祖谷のかずら橋  藍染め  DMV	
地域の多様な 主体の参画	地元DMO、観光関連事業者等と連携して、消費者目線での新商品造成、受入体制強化、SNS等を活用したデジタル発信などに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊旅行による旅行消費額（+871.27億円） ②客室稼働率（+20.7%） ③観光情報サイト総アクセス件数（+471万件）

※徳島県、徳島市、鳴門市、小松島市、勝浦町、海陽町、松茂町、藍住町の広域連携事業

事業概要【Targeting 大阪・関西万博！「バーチャル」×「リアル」な体験による新たな「人の流れ創出」事業】

申請者	徳島県						初回採択回	令和４年度第２回募集
事業計画期間	R4-R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	181,169千円 (41,646千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・2025年大阪・関西万博の開催と併せて、インターネット上の「WEBパビリオン」において、構築したプラットフォームの活用による情報発信により、徳島への来訪、交流人口の拡大を促進する。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 とくしまWEBパビリオンの構築及びバーチャルコンテンツの作成、海外との交流イベントの開催、徳島の豊かな自然や文化、産業等に「リアル」に触れる地域活性化イベント実施などに取り組み、地域経済の活性化を図る。 【ソフト事業経費】 「とくしまWEBパビリオン」において、大阪・関西万博の「徳島パビリオン」や催事、県内でのイベントと連携した、本県の魅力発信に取り組む。 ・イベントとの連携コンテンツ作成・運用・発信（委託費）9,700千円 - 本県の魅力の世界への発信と、海外からの徳島ファンの創出に向けて、国際交流を深め、学生同士の交流イベント開催などに取り組む。 ・国際交流イベント開催（委託費等）11,722千円 メタバースでの「バーチャル」な体験を通じて、本県の魅力を「リアル」ならではの「特別な体験」として実感することができるイベント開催などに取り組む。 ・地域活性化イベント開催（需用費等）20,224千円						 「大阪・関西万博」徳島県公式サイト	
地域の多様な 主体の参画	県内の商工関係団体、観光関係団体等と連携して、広報活動に取り組むとともに、県内の高等教育機関等と連携して、若者の意見聴取や教育機会の創出につながる自主的な活動などに取り組む。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル関係人口の創出数 (+7,500人) ②「とくしまバーチャルパビリオン」イベント来場者数 (+65,000人) ③国際交流イベントの開催回数 (+21回)

事業概要【大阪・関西万博に向けPDCAサイクル加速！循環人口創出事業】

申請者	徳島県					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	487,262千円 (103,350千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 万博後を見据えたソフトレガシーとして「徳島県と外部との新たな関係性づくり」の仕組みを構築することで、イノベーションがイノベーションを呼ぶ、継続的な人の循環のエコシステムを構築する。 - 県外人口との多様な関係性を構築し、「人の出入り」の全体数を底上げし、徳島県を、様々な分野の「社会経済活動の現場」へと構造転換を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関係づくりコンテンツの万博における実証と未来へ向けた仕組みの確立、サステナブルな「食体験」コンテンツの「実装・深化」、生産から消費までSDGs視点で食のイベントの実施などに取り組み、新たな人の流れを創出する。 【ソフト事業経費】 2025年大阪・関西万博及び本県で開催される各種大規模イベントを一体的に発信するとともに、本県が世界・全国に優位性をもつイメージ設定とコンセプトPRツール制作などに取り組む。 ・デジタルマーケティング等を活用した情報発信（委託料）84,000千円 ・本県農林水産業に貢献する体験や地域に根ざした食文化を楽しむことができる着地型コンテンツの充実・深化などに取り組む。 ・市場関係者と連携したプロモーション活動の展開（委託料）4,500千円 ・全世代の消費者に本県ならではの取組や、県内外において、本県が誇る豊かな「食材」と魅力ある「食文化」を発信するイベント開催などに取り組む。 ・製品開発・PR、販路拡大支援（委託料等）14,850千円						
地域の多様な 主体の参画	県内の商工関係団体、観光関係団体等と連携して、広報活動に取り組むとともに、県内の高等教育機関等と連携して、若者の意見聴取や教育機会の創出につながる自主的な活動などに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①循環人口の創出（循環人口率）（+28%） ②転入＋転出口の総体での増加（転出入比率は維持）（+4,029人） ③食育に関心を持っている人の割合（+9%）

事業概要【リアル“N I S H I – A W A”観光振興プロジェクト】

申請者	徳島県、つるぎ町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	6,203,102千円 (591,820千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 観光分野
目的・効果	・にし阿波の主たる観光地や地元を舞台とした「R P Gアプリ」による観光資源の魅力発信や、「現地で地域の魅力」を体験できる「アプリと連動した地元イベントの開催」、その中心的位置づけとなる「おもてなし施設（観光拠点）の整備」、観光客が安心・安全に通行できる「周遊ルート等の整備」により、国内外からの新たな観光客の獲得など関係人口を拡大させ、地域経済活動の活性化や新たな雇用創出など「地域のにぎわい創出」を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 「R P Gアプリ」を通じて地域に興味を持ち、現地に来てもらうための情報発信やイベント開催を行うとともに、既存施設のリニューアルによる「地域の観光拠点」の整備や、観光客が安心して観光地を周遊でき、さらにリピーターとなってもらえるよう「安心・安全な観光アクセスルート」を確保する。 【ソフト事業経費】 都市圏・若年層向けのSNS広告やプロモーション動画の制作・配信によるアプリの魅力発信や、アプリと連携したリアルイベント開催などに取り組む。 ・情報発信、イベント開催（委託料等）2,226千円 【拠点整備事業経費】 観光拠点の整備 ・施設整備 154,594千円 【インフラ整備事業経費】 観光地への安心・安全なアクセスを確保する道路整備等 ・工事請負費等 435,000千円						
地域の多様な 主体の参画	「R P Gアプリ」の作成やP R、アプリによる観光地や店舗への誘客など、地元の企業や学校、住民と連携して行い、地域の魅力発信などに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①つるぎ町・美馬市の観光入込客数（+10万人） ②RPGアプリのダウンロード数（+1.7万人） ③周遊ルートにおける1日あたりの総アクセス時間短縮（▲100時間） ④周遊ルートにおける事故発生件数減少率（▲40%） ⑤周遊ルートにおける危険箇所対策率（+100%）

事業概要【官民協働地域DX推進事業】

申請者	徳島県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	469,590千円 (191,530千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・官民協働スペース「とくしまDX推進HUB」の創設により官民が連携してDXを推進し、地域課題の解決による労働生産性向上、付加価値の創出を目指すとともに、地方創生に資するDXを促進する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 官民協働ワーキンググループの創設と地域DXの推進に向けた実証実験の実施、とくしまDX推進HUBの設置・運営、デジタル人材を活用した相談窓口の設置や伴走支援の実施による市町村支援などに取り組み、労働生産性の向上や付加価値の創出を目指す。 【ソフト事業経費】 官民協働ワーキンググループで検討したデジタル技術を用いた地域課題を解決する取組について実証実験を行う者への支援などに取り組み。 ・実証実験支援（補助金）50,000千円 とくしまDX推進HUBを設置し、デジタル人材と県、市町村職員、県民、事業者等が集う会員制のスペースを設け、地域DXを推進するための拠点づくりに取り組む。 ・とくしまDX推進HUB設置（工事費）30,000千円 ・とくしまDX推進HUB運営等（委託費）23,000千円							
※経費内訳はR7年度事業費								
地域の多様な 主体の参画	外部デジタル人材等と連携して、DXの推進に係る専門的知見や情報通信産業分野における人脈の活用による地域課題解決策の策定や、市町村が地域DXを推進するための伴走支援を実施する。						KPI	①徳島県の労働生産性（+300千円） ②官民協働ワーキンググループで検証し、実証実験を実施した件数（+15件） ③県内市町村で実施したDXの推進に向けた取組の件数（+24件） ④デジタルデバйд対策や人材育成等として「スマホ教室」「情報モラル教室」「キャリア教室」等を実施した回数（+15件）
							※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【インバウンドを核とした徳島地域経済活性化事業】

申請者	徳島県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,524,700千円 (545,200千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	・インバウンド・アウトバウンド双方の利用を促進し、国際定期便・国内便の安定的な就航を目指す。 ・海外への効果的なプロモーションや首都圏でのプロモーションにより、本県の認知度・魅力度の向上を目指す。 ・宿泊施設誘致等により受入環境を整備する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 動線の継続的な確保、国内外から観光地として選ばれるための認知度・魅力度の向上、誘客需要をとりこぼさない受入体制の構築などに取り組み、地域経済の活性化や交流人口の増加を図る。 【ソフト事業経費】 国際定期便2路線（香港・韓国）及び国内航空路線について、就航継続及び新規路線獲得に向けた支援・プロモーションなどに取り組み。 ・海外での旅行博出展等のセールス活動（委託費等）71,000千円 首都圏における大規模プロモーションやメディアを活用した認知度向上施策を実施するとともに、本県のキラコンテンツである「阿波おどり」を活用した誘客コンテンツの磨き上げなどに取り組み。 ・首都圏におけるプロモーション（委託費等）201,500千円 宿泊施設について、事業者に積極的な営業活動を行うとともにインバウンド受入において必要な環境整備などに取り組み。 ・商談会開催やアテンド等の誘致（委託費等）24,500千円							
地域の多様な 主体の参画	県内の観光関係団体や地元マスコミ等と連携して、プロモーションの展開や県内イベントの情報発信などに取り組み。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①年間外国人延べ宿泊者数（+6万人） ②年間延べ宿泊者数（+45万人） ③徳島阿波おどり空港の利用者数（+18万人） ④年間観光入込客数（+400万人） ⑤国内年間旅行消費額（+170億円）

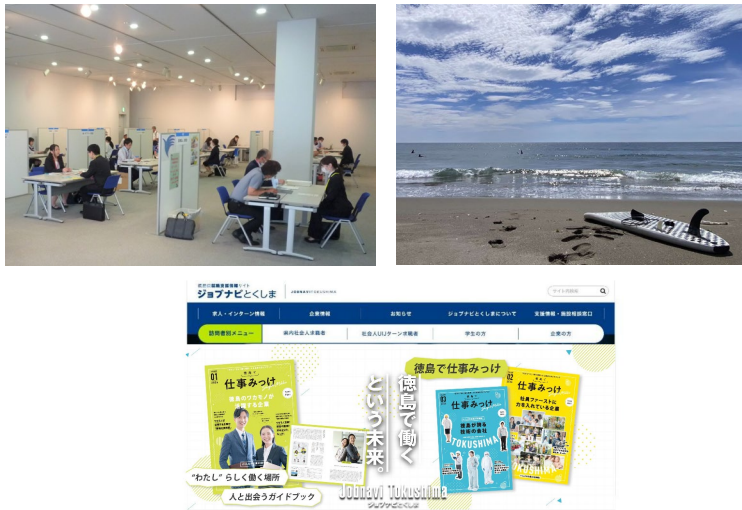
事業概要【スポーツを通じた地方創生による「スポーツ立県TOKUSHIMA」創造プロジェクト】

申請者	徳島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,460,530千円 (861,880千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	観光分野
目的・効果	- デジタル技術活用による健康づくり・人材育成を核とした「地域ブランド力向上」やスポーツツーリズム推進により、観光者数や交流人口の増加を図る。 - サイクリングのための新たなゲートウェイ機能を有する施設の整備やサイクリスト受入環境の充実などにより、地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スポーツツーリズム推進に加え、渦の道の改修、架橋記念館エディのリニューアルによる観光拠点の魅力向上や、自転車利用者のための通行空間等の整備などに取り組み、地域経済の活性化を図る。 【ソフト事業経費】 産学官連携による事業実施体制の整備や、課題の把握・事業手法を検討するとともに、サイクルツーリズムの醸成に向けた調査などに取り組む。 ・「子ども体力向上」メソッド検討（負担金）8,895千円 ・サイクリングマーケティング調査（委託料）12,910千円 【拠点整備事業経費】 渦の道待合室改修及び架橋記念館エディ1階を整備する。 ・施設整備 230,000千円 【インフラ整備事業経費】 サイクリング施設改修に伴う周辺自転車道や標識などを整備する。 ・工事請負費等 598,750千円					県内全域のサイクリングコース	
地域の多様な 主体の参画	県内の自転車関連事業者やプロスポーツチーム、スポーツ競技団体等と連携して、現場目線、専門的知見を生かした事業提案、事業構築などに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①年間延べ宿泊者数（+65万人） ②国内年間旅行消費額（+290億円） ③国際的及び全国的スポーツ大会や合宿、交流会の県内開催件数（+32件） ④肥満傾向児の出現率（▲2.5%）

事業概要【「あわ文化」の魅力再発見による「文化観光」加速化事業】

申請者	徳島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	187,317千円 (55,807千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	「あわ文化」の魅力を再認識し、「田舎の文化」に誇りを持ち発信してもらうことで文化観光の加速化を図る。 - 研究や「あわ文化」の発信を活性化し、文化財を確実に引き継いでいくため、保存と活用を担う次代の人材を育成する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 地域の文化資源を生かした魅力的なコンテンツの充実、あわ文化の効果的な魅力発信、あわ文化の承継などに取り組み、県民一体となった「文化観光」の推進を図る。 【ソフト事業経費】 県内の国内最古級恐竜化石含有層の発掘調査により、新たな資料を収集し、博物館展示の充実を図るとともに、発掘体験イベント開催などに取り組み。 - 恐竜化石含有層の発掘調査及び化石発掘体験（委託費等） 27,091千円 - 国外で活躍する人形遣いや劇団を阿波十郎兵衛屋敷へ招聘し、県内人形座との合作公演など、訪日外国人のリピーター確保につながるイベント開催などに取り組み。 - 県外への人形座や人形師、学生の派遣（委託料）2,000千円					 トクシマ恐竜展2024  重要伝統的建造物保存地区 (美馬市脇町)  阿波十郎兵衛屋敷での 人形浄瑠璃公演	
地域の多様な 主体の参画	県有施設の指定管理者等と連携して、利用者の増加や地域住民の関係性構築につながるイベントの開催などに取り組み。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①年間観光入込客数（+400万人） ②文化の森総合公園文化施設入館者数（+0.99万人） ③大学との連携事業による対応人数（+15名） ④阿波十郎兵衛屋敷の外国人入館者数（+1,200人）

事業概要【持続的な県勢発展に向けた人材確保対策事業】

申請者	徳島県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	438,830千円 (135,610千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・徳島県内で深刻化する「人材不足」に対し、「人材の流出抑制」「潜在労働力の活用」「人材の還流促進」の視点から人材確保対策の施策を展開する。 ・本県の魅力の発信や誰もが働きやすく魅力的な職場環境の整備などを行い、県内での雇用・定着を促進することで、企業や地域の活力維持・社会動態の改善を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者を中心とした人材流出の抑制、潜在的な人材の確保、人材還流の促進などに取り組み、就職先や移住先として多くの方に選ばれる徳島を実現し、県内企業や地域の活力維持を目指す。 【ソフト事業経費】 企業・若者への取材や生の声をベースにした動画、SNSなどの広報媒体の制作や、関係機関との連携による若者へのアプローチなどに取り組む。 ・ウェブサイト等情報発信経費（委託料）15,000千円 就職面接会や職場体験、セミナー等開催によるマッチング促進や、企業等への個別訪問による相談支援や説明会の開催などに取り組む。 ・雇用、定着促進（委託料等）40,000千円 オンラインコミュニティの構築や、本県の魅力を伝えるための交流会や体験ツアー等の開催などに取り組む。 ・オンラインコミュニティ構築運営、イベント開催（委託料等）56,720千円							
地域の多様な 主体の参画	県内の経済団体・業界団体等と連携して、県内企業の人材確保上の課題やニーズの詳細把握や企業への情報共有に取り組むとともに、県内の高等教育機関等と連携して、最新の学生動向、就活の現状・ニーズを踏まえた情報発信などに取り組む。						KPI	①採用充足率（±0%） ②本県における移住者数（+300人） ③「とくしまファン」オンラインコミュニティ登録者数（+2,000人）

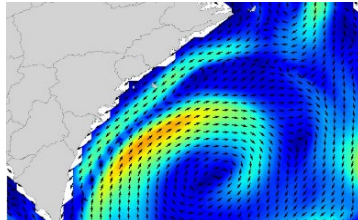
事業概要【新たな地域商社を核とした産業の国内外展開支援事業】

申請者	徳島県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	587,655千円 (201,485千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・商社勤務経験者などの専門人材を有する（公社）徳島県産業国際化支援機構等と連携し、ブランディングによる高付加価値化、観光等との一体的プロモーションによる国内外への販路開拓、ビジネス拡大に取り組む県内事業者の掘り起こしなど、国内外への事業展開を支援し、域外の需要の獲得による県内産業の持続的な成長を図る。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 観光・文化と一体となった県産品プロモーション、県産品のブランディングとブラッシュアップ、ビジネス拡大に取り組む域内事業者の掘り起こしと育成などに取り組む、県内経済の持続的な発展につなげる。 【ソフト事業経費】 食・文化・観光が一体となった「オール徳島」での営業活動やプロモーションを展開するとともに、国内外バイヤーと県内事業者とのマッチング、生産者や事業者の営業力強化の支援などに取り組む。 ・食、文化、観光の一体的なプロモーション（委託料）49,534千円 ・専門人材による輸出手続き等の伴走支援や、市場ニーズに合わせた新商品開発・既存商品のブラッシュアップ支援などに取り組む。 ・専門人材による販路開拓支援（委託料）27,792千円 ワンストップ相談窓口の設置や海外政府機関・自治体等と連携した海外展開支援、海外市場に関する調査などに取り組む。 ・企業の海外展開支援（委託料）12,500千円						 	
地域の多様な 主体の参画	県内企業等と連携して、国内外への販路拡大と県産品の魅力発信、伴走支援などに取り組む。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①徳島県の輸出額（中小企業分） （+30億円） ②県産農林水産物・食品輸出額 （+25.5億円） ③徳島県の輸出企業数（中小企業分） （+30社）

事業概要【「サステナブルな徳島県林業」の実現】

申請者	徳島県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	281,950千円 (135,550千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	農林水産分野
目的・効果	・徳島の林業・木材産業の魅力が認知され、先人から受け継がれた豊かな環境の下、多様な働き手が活躍し、意欲と能力のある林業事業体等による資源の循環利用が確立されるとともに、適切な森林管理が進み、持続可能な林業の展開を図る。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 多様な人材の育成・確保、適正な森林整備の推進、成熟した資源の活用などに取り組み、県内外の働きたい人に「徳島での林業」が選ばれる「サステナブルな徳島県林業」を実現する。 【ソフト事業経費】 起業予定者及び起業後間もない林業事業体等を対象とした起業支援・経営改善に関する研修会やスキル取得に向けた研修会の開催、専門家による起業支援サポート及び経営アドバイス支援などに取り組む。 ・研修会、サポート支援等（委託料等）13,600千円 業務プロセスの変革による効率化・省力化・コスト削減等に向けた森林クラウドシステムの構築や、AIを活用した更新システム導入などに取り組む。 ・林業DXプロジェクト実装（委託料）61,800千円 県産材の需要拡大に向けて、県外展示会への出展や、国外における展示商談会による需要・販路拡大などに取り組む。 ・県産材レガシー創出対策（委託料）10,500千円						 多様な人材の育成・確保	 適正な森林整備推進(森林クラウド)
地域の多様な 主体の参画	県内の林業関係事業体や木材産業関係団体等と連携して、定期的な事業報告会での情報共有や、関係団体からの聞き取り調査や効果的な研修実施などに取り組む。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県産材の生産量（+9万m3） ②新規林業就業者数（+120人） ③県内における原木消費量（+12.1万m3） ④SDGs森林づくり宣言企業・団体数（+115企業・団体数）

事業概要【とくしまスマート農林水産業における人材育成と成長産業化事業】

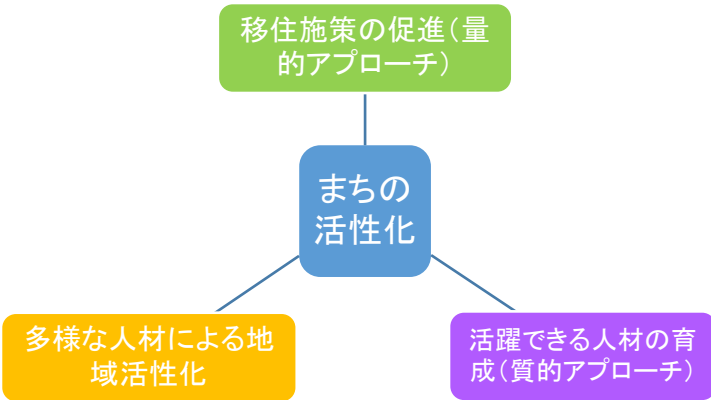
申請者	徳島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	439,350千円 (148,950千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・スマート技術の実践的な研修等を展開し、スマート農林水産業を担う多様な人材の育成・確保を図る。 ・生産現場に適合するスマート技術の開発・導入・利用拡大を推進するとともに、産学官連携による生産から販売に至るまでの一貫したイノベーション創出により、徳島県の農畜水産物産出額のV字回復を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 スマート農林水産業を担う人材育成・確保、スマート農林水産業による成長産業化などに取り組み、持続可能な成長産業として、次世代へ継承される本県農林水産業を実現する。 【ソフト事業経費】 「とくしま農林水産チャレンジセンター」を核として、スマート技術や経営ノウハウ等の習得に必要なリスティング研修や先駆的な生産者の元での実践研修などに取り組む。 ・スマート技術の実践研修（委託料等）27,844千円 新たに「とくしまスマート農業推進プラットフォーム」を立ち上げるなど、生産現場の課題を解決するプロジェクト活動を推進するとともに、生産者・団体、高等教育機関に加え、異業種のものづくり企業等で構成する「とくしま農林水産業イノベーションHUB」を本格始動し、スマート技術等の革新的な技術開発や新たなビジネスモデル構築などに取り組む。 ・産学官連携でのイノベーション創出（委託料等）15,000千円					 スマート農業研修（施設園芸）  ドローン導入実証（レンコン産地）  スマート漁業研修（定置網）  海況予測システム（潮流予測）	
地域の多様な 主体の参画	県内の農林水産関係団体、生産法人、ものづくり企業等と連携して、農林水産分野の実践的な各種研修の実施や、革新的な技術開発に向けた現地実証のコーディネート、革新的技術の活用による生産から販売までの一貫支援などに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農畜水産物産出額（+45億円） ②農林水産業新規就業者数（+810人） ③スマート技術活用経営体数（+450経営体） ④産学官連携プロジェクトによるイノベーション創出数（+6件）

申請者	徳島市ほか14自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	153,920千円（26,560千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・15市町村から成る徳島東部圏域が、官民が一体となり戦略的に取り組む仕組みを構築する ・観光コンテンツを魅力あるビジネスに成長させ、旅行者等による交流人口の拡大を図る ・観光地域づくりを推進し、圏域経済を好循環させ、持続可能な地域にする		
事業概要・ 主な経費	○地域固有の資源を観光資源として磨き上げ「ニューツーリズム推進事業」としてコンテンツ造成等を推進する ・SNSプロモーション・HP情報発信・観光素材集作成費（委託費・広告宣伝費）4,800千円 ・AT（アドベンチャートラベル）・ST（サステナブルファムツアー）の磨き上げ費（委託費）700千円 ・ニューツーリズム推進に係る事務費（会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費・広告宣伝費・委託費）500千円 ○住民が地域の魅力を再認識する機会の創出や、訪問者と住民との積極的な交流を促進するとともに、住民を対象とした将来の観光を担う人材を育成していくことで、住民の地域への誇りと愛着の醸成を図る ・観光満足度・住民満足度調査費（委託費）1,260千円 ・マイクロツーリズム推進費用（委託費）700千円 ・観光人材育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）500千円 ・観光地域まちづくりWG運営費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）500千円 ・シビックプライド醸成に係る事務費（会議費・通信運搬費・消耗品費・賃借料・印刷費・広告宣伝費・委託費）200千円 ○観光アプリのデータを活用した地域一体による戦略的・効果的なデジタルマーケティングやCRMを実施することで面的DXを推進するとともに、観光デジタル人材の育成を推進する ・周遊促進に向けた企画商品普及促進費（委託費）800千円 ・観光デジタル人材の育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）500千円 ・面的DX推進に係る事務費（会議費・通信運搬費・消耗品費・賃借料・印刷費・委託費・広告宣伝費・委託費）100千円 ○大阪・関西万博会場で徳島に興味を持った人々に徳島を来訪してもらい、さらに徳島東部をハブとして広域的な周遊・長期滞在に繋げる ・周遊コンテンツの磨き上げ・情報発信費（委託費・広告宣伝費）500千円 ・関西方面での集中プロモーション費用（広告宣伝費・委託費）1,000千円 等		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	①徳島東部圏域の延べ宿泊者数（+120.8万人） ②徳島東部圏域ひとり当たり観光消費額（+26千円） ③徳島東部圏域の来訪者満足度（+4.5%） ④徳島東部圏域の住民満足度（+5.0%）		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			



関連 URL
令和7年9月公表予定

事業概要【「しごと」を担い、まちを元気にする「地域活性化人材」創出事業】

申請者	徳島県徳島市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	86,624千円 (15,745千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・移住施策の推進等により地域外人材を呼び込むことにより、人材を確保する ・市民協働施策等を活用しながら、より実践的な人材育成の取組を展開することで、人材のミスマッチを解消する ・多種多様な人材の創出・確保・活躍を推進する						
事業概要・ 主な経費	※経費内訳はR7年度事業費 ① 地域外人材の確保・定着（量的アプローチ） ・関係人口拡大事業（委託料、報償費）3,345千円 ・ふるさとワーキングホリデー事業（委託料）2,700千円 ② 活躍できる人材の育成（質的アプローチ） ・共創の場運営経費（報酬、旅費、需用費、委託料、使用料）1,790千円 ・女性・若者活躍推進事業（委託料）900千円 ③ 多様な人材を原動力とした地域活性化 ・新規創業等支援事業（報償費、委託料、補助金）5,950千円 ・創業後フォローアップ事業（委託料、使用料、需用費、報償費）185千円 ・阿波女あきんど塾出張講座（報償費、需用費）45千円 ・次世代活躍事業（報償費、旅費、需用費、負担金）830千円						
地域の多様な 主体の参画	伝統産業事業所等に、ふるさとワーキングホリデーの就労受先や移住体験ツアーの訪問先になってもらい、地域外人材の確保・定着を図る。 若手人材が参画する「共創の場」において講演会や勉強会を開催し、地域経済を回しながら地域で活躍している人材である地域おこし協力隊等に、その志や手法を伝えてもらうことで、これからを担う地域づくり人材の育成を図る。 創業促進事業の採択を受けた事業者が抱える経営課題に対して、委託業者やとくしま産業振興機構が伴走支援を行う。					KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ① 本事業を通じた、徳島市内における新規就業・創業者数（+125人） ② 本事業を通じた、徳島市への移住者数及び徳島市の関係人口数（+125人） ③ 本事業を通じ、新たな事業やコミュニティビジネスを実施した人数（+50人）

事業概要【伝統文化と公民連携で推進！SDGs未来都市とくしま実現事業】

申請者	徳島県徳島市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	59,139千円 (26,513千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- ダイバーシティと民間活力を原動力とした様々な取組と「阿波おどり」を組み合わせSDGsを自分ごととして推進する地域を確立する。 - 先駆的・実験的な取組を、多様な主体と手を組み積極的に推進することで、経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらすモデル事業を生み出す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	① SDGs推進にかかる課題である市民・企業の認識不足を解消するため、地域の伝統文化「阿波おどり」を通じた活動が、ダイバーシティの推進や持続可能性を追求していく取組であると認識できるように展開する。 ・ダイバーシティとくしま連実施経費(委託料) 2,000千円 ・持続可能な地域の伝統文化継承事業(委託料) 1,980千円 ② 企業や市民等と連携し、経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらす公民連携事業を生み出す。 ・SDGs未来都市 実現協議会運営及びプロモーション事業(委託料、需用費、使用料、補助金) ソフト：857千円 ハード：21,000千円 ・次世代学びの場構築事業費(委託料、需用費、使用料)100千円 ・ダイバーシティ啓発推進事業(委託料) 390千円 ・SDGs推進の取組可視化事業(委託料) 156千円 ・公民連携事業創出に係る人材育成事業(負担金) 30千円					 	
地域の多様な 主体の参画	阿波おどり開催期間中には、学生ボランティアを巻き込んでごみの回収・分別を行い、開催後には、阿波おどり実行委員会へ取組報告を行い、改善点などの意見を次年度計画への反映に取り組む。 地元等企業と連携協定を締結し、“民”が持つビジネスのノウハウやネットワークなどの強みを生かし、SDGs未来都市の推進を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の伝統文化の持続可能性に貢献する市民の数（+680人） ②SDGs推進に係る公民連携事業等に協賛する企業・団体数（+48社・団体） ③経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらす公民連携モデル事業の実施数（+7件）

事業概要【なると満喫アクティビティ事業～寄りたい！泊まりたい！また行きたい！なるとCity～】

旧制度（推進）

申請者	徳島県鳴門市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	41,822千円（19,510千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・市内に点在しているアクティビティを整理整備し、情報発信力の向上を図る ・本市の強みである自然を活用したアクティビティを磨き上げ、市内全体への観光範囲の拡大、滞在型観光の誘客を図る		
事業概要・ 主な経費	○プロモーション整備 (1) アクティビティのパッケージ化 3,630千円 ・ツアー構築（構築、販促、委託コスト） (2) アクティビティマップデジタル化費用 8,470千円 ・デジタルサイネージ設置及びアプリ開発 ○イベント事業 (1) イベント運営費用 2,840千円 ・企画立案提案実施（各事業者連携含む） (2) 広告費用 2,000千円 ・チラシ、WEB、SNS等での告知物作成及び告知 ○プロモーションサイト運営事業 (1) 運営コスト 2,570千円 ・初年度整備のWebサイト運営、メンテナンス、アップデート実施		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	https://www.city.naruto.tokushima.jp/shisei/kangaeru/keikaku/sougousenryaku/

事業概要【「はじまりのまち」鳴門～若者が「チャレンジ・活躍できる」まちづくり～】

申請者	徳島県鳴門市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	116,000千円 (28,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・まちへの愛着形成や市との関わりを深めていくためのインナープロモーションやアントレプレナーシップ教育等を推進し、自ら情報発信源となり得る人材の発掘と育成を進め、市外からの移住推進を促すアウトプロモーションにも繋げることで、若者の移住・定住を図る。 ・まちに「ヒト・モノ・カネ」の好循環を生み出すため、リノベーションまちづくりにより「若者が集う」新たなコンテンツの造成やインキュベーション施設運営により「若者がチャレンジする」象徴的な存在＝スタートアップが集まるまち・生まれるまちを目指すなど、まちづくりに主体的に取り組む活動人口の育成などの仕掛けづくりを行い、人口減少化における市民の「幸福度」や「住みやすさ」の維持・向上、魅力的な地域づくり、シビックプライドの醸成等を図る。 ⇒「構造的に避けられない人口減少の抑制」と、まちの質的向上である「人口減少に適応した持続的なまちづくり」の双方を目指す。						
事業概要・ 主な経費	○若者がチャレンジできる・活躍できる「はじまりのまち」としてのブランディング効果を高めるコンセプトムービーの作成や「0→1スクール」の企画運営、その後のドキュメントムービーの作成。 ・動画制作や「0→1スクール」の企画運営(委託料)8,000千円 ○民間人材の育成や機運醸成、事業者ヒアリングや空き家等のポテンシャルマップの作成などのリノベーションまちづくり可能性調査の実施。 ・可能性調査の実施(委託料)5,000千円 ○インキュベーション施設の運営 ・コミュニケーションマネージャーの教育など運営体制の構築(委託料)7,000千円 ・創業支援やスタートアップ支援、アントレ教育などのトライアルイベント(委託料)8,000千円 ※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な 主体の参画	○地元企業：インキュベーション施設の運営を行う役割を担う。 ○市内在住の高校生：若者や女性に選ばれる地域をつくるに際してのニーズの把握、事業の評価・検証等の役割を担う。 ○市内在住の若者や子育て世代：若者や女性に選ばれる地域をつくるに際してのニーズの把握、事業の評価・検証等の役割を担う。 ○地元金融機関：インキュベーションの運営にあたり、創業支援の専門機関としてメンタリングや創業相談、創業セミナーなどを実施する役割を担う。 ○徳島県、地元金融機関、地元ハローワーク、地元新聞社 ※市総合戦略評価委員会委員：本事業を含む市総合戦略の策定、効果の検証及び見直し並びに総合戦略に係る各種交付金事業の効果の検証を担う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①鳴門市における15歳～39歳の人口(+84人) ②鳴門市で住むことを市外の人におすすめしたい高校生の割合(+3%) ③リノベーションスクール及び波及効果によるリノベーション案件事業化件数(+1件) ④市内で活動するスタートアップ企業数(+6企業)

事業概要【テレワークを活用した「地域の稼ぐ力」向上計画】

旧制度（推進）

申請者	徳島県小松島市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	46,000千円（9,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・テレワーク推進機関（センター）を中心とし、地方での「多様な働き方」ができる環境づくりを図る。 ・地域のコワーキングスペースと連携し「雇用型テレワーク」の候補地とした企業誘致等により、地方での新たな雇用創出を図る。 ・ハローワークや地元企業、高校とも連携したマッチングイベント等の開催により「地方の稼ぐ力」を向上させる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	・テレワーカー育成やリスキング支援の主体となる団体に対する業務委託（7,598千円） ・各種セミナーやコミュニティイベントの開催経費等、チラシ等の印刷や広報経費（152千円） ・人材のネットワークを活用し、ハローワーク等との連携による就職マッチングイベントの開催経費（750千円） ・地元企業と市内高校生とのマッチングイベントの開催経費（500千円）  こまつしま働き方支援センター【こまはた】 こまはたは、働き方支援センターとして、多様な働き方を支援し、地域経済の活性化を図ります。 多様な働き方の実現に向けて		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・テレワークにおける研修参加者のうち実際にテレワークを実施した人数（+32人） ②・・・テレワークに関する各種セミナーへの参加者（目標値：+42人） ③・・・テレワークの利用を主目的としたコワーキングスペースの利用登録者（目標値：+52人） 関連URL https://www.city.komatsushima.lg.jp/docs/502578.html		

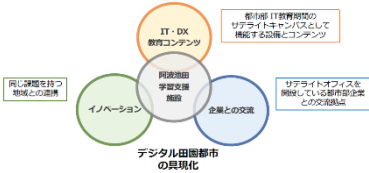
事業概要【子育て世代をターゲットとしたまちの魅力向上による賑わい創出事業】

旧制度（推進）

申請者	徳島県小松島市	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	129,939千円（19,625千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	～子育て世代が安心安全に過ごせる居心地の良い空間・時間づくり～ 小学校就学前の子どもを抱える世帯（20代～40代の男女と、その子ども）をターゲットとしたイベントや体験学習を通した本市ならではの学習環境や機会の創出を行うとともに、「本港地区」エリアのグランドデザインをつくりあげていく中で、親子が安心して過ごせる時間や、そこに集う親子同士が交流できる空間の創出を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	・市内外で活躍するアスリートやアーティスト等の各種専門家の招へいと、体力づくりや創造性を養うための体験型学習プログラム事業の実施にかかる報償費等 7,000千円 ・消防が実施する親子で楽しみながら参加し、子どもの応急措置等が学習できるとともに地域愛を育むイベント開催にかかる消耗品費、備品費等 415千円 ・子育て世代が交流できる市内の妊産婦を対象とした胎教コンサートや人形劇等の開催にかかる委託料等 600千円 ・未就学児・小学生を対象とした子どもの遊び場づくり事業にかかる消耗品費等 550千円 ・環境学習プログラム等のSDGs学習イベントにかかる消耗品等 500千円 ・学校外教育学習としてのプログラミング学習やドローンを活用した学習イベントのほか、STEAM教育に資する学習イベント実施にかかる委託料等 500千円 ・市民の定住を図るため県外相談者のみではなく県内移住者への相談対応とニーズ把握及び、子育て支援施策をまとめた各種媒体による情報発信事業にかかる委託料等 2,700千円 ・新たな移住者層や子育てしながら働ける環境づくり、ライフステージに応じた多様な働き方の支援するためのリスクリングを実施するための委託料等 2,000千円 ・既存公共施設等を活用し、本港地区を子育て世代をはじめ多世代が交流できるエリアとするため、プール等の施設整備に向けた基本計画作成委託料等（対象外経費となる提案、企画・立案に関するコンサルティング経費を除く） 5,360千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①近隣２市への転出者の対基準年比減少数（＋55人） ②小松島市移住交流支援センターで受け付けた相談件数（＋66人）		
		関連URL	https://www.city.komatsushima.lg.jp/docs/502578.html

申請者	徳島県小松島市、勝浦町	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	85,372千円（18,325千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・滞在型観光へのシフトチェンジによる観光消費額の向上 ・観光受け入れ態勢の整備 ・年間を通じた観光コンテンツづくり ・産直市間連携と地域資源を活かした効果的な観光誘客		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	・体験型観光商品・特産品等の開発支援・磨き上げ、情報発信、海外でのプロモーション等の実施のための諸経費（小松島市2,600千円） ・地域資源を活かした体験型観光等商品の造成及びプロモーション、ファムツアー等観光客受入環境整備等に係る経費（勝浦町1,775千円） ・JA東とくしまが運営する産直市や道の駅（勝浦町）への観光誘客と情報発信等に係る経費（小松島市650千円） ・小松島産はもやちめん、勝浦産みかんといった地場産品の販売促進のためのプロモーション・フェア開催に係る経費（小松島市2,300千円） ・県内外での物産や販路拡大のための展示会等の経費（ブース代、イベント開催業者への参加費・手数料、郵送料）（小松島市1,500千円） ・小松島の産品やみなとを活用したイベントの実施、イベント開催支援に係る経費（小松島市1,940千円） ・大型客船寄港時における観光消費促進等受け入れ体制に係る経費（小松島市3,560千円） ・体験型観光商品・特産品等の開発支援、磨き上げ、情報発信、海外でのプロモーション等の実施のための諸経費（補助等によるハード経費）：（小松島市4,000千円）（具体的な補助内容：設備補助、開発費補助等、補助率1/2、補助上限1,000千円）  体験型観光 コンテンツ造成  地場産品の 販売促進等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①小松島市・勝浦町の観光入り込み客数（+130,682人） ②小松島市・勝浦町の主要観光施設（あいさい広場・よってネ市・道の駅ひなの里かつら）の売上高（+101,291千円） ③小松島市・勝浦町の主要宿泊施設の延べ宿泊客数（+4,870人）		関連URL https://www.city.komatsushima.lg.jp/docs/502578.html

事業概要【「地域のデジタル化推進拠点」創出事業】

申請者	徳島県三好市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	43,144千円（12,100千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・人流創出と魅力的な地域をつくる拠点施設にデジタル学習環境を実装・充実させ「デジタル／I T人材」等を育成する。 ・新たなサテライト企業の本市進出を誘引する環境と体制を整える。 ・「地元企業を知る機会」や「マッチング機会」等を増やすことで、地元雇用を強化する。 ・「若年層の流出抑制」や「ふるさと回帰」に資する「魅力あふれる地域」を作り上げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○事業推進協議会運営事業 ・議会運営費（委託料）1,100千円 ○（仮称）地域のデジタル化推進拠点サービス構築 ・デジタル教育サービスの市場調査やコンサルティング（委託料）4,400千円 ・メンター人材の配置、ソフトウェアのデータ・権利等使用料、ハードウェアの保守点検等（委託料）4,400千円 ・デジタル教育サービスの広報・PR 経費、プロモーション（委託料）2,200千円					「三好市地域みらい創発センター」にデジタル技術を実装することで、地域の魅力向上を図りながら、デジタル技術を地域で学ぶ学習支援施設として場を創出し地域のデジタル人材の輩出する。  デジタル田園都市の具現化 IT・DX 数値コンテンツ 同業他社 IT 技術開発の サテライトオフィスとして機能する設備とコンテンツ サテライトオフィスも開設している都市部企業との交流 企業との交流 同業他社 学習支援 施設 イノベーション 同じ課題を持つ 地域との連携 R5 (2023) R6 (2024) R7 (2025) 【1年目】 ●推進協議会の設立 ●計画の策定 【2年目】 ●ソフト・ハード導入・実証 ●サービス体制構築 【3年目】 ●サービス実装	
地域の多様な 主体の参画	新たな人流創出など「居心地の良いまちの居間のような空間」をコンセプトに整備した「三好市地域創発センター」において、人材の育成や地元雇用の強化を推進するため、地元企業およびサテライトオフィス企業をはじめ、県内の大学や地元県立高校（卒業）生との連携を通じて、デジタル人材の育成やサテライトオフィスの誘致、就業マッチングの促進に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「デジタル／I T人材」等登録者数（+60人） ②「サテライト企業」等の誘致数（+2社） ③「地元企業」と「①人材」とのマッチング実施件数（+110人）

事業概要【まちを将来世代につなぐプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	徳島県神山町	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	249,655千円（45,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	2060年に向けて3,000人を上回る人口規模と、集落単位でバランスのとれた人口構成を実現し、住民自治が能動的に機能している、自立的で安定した「輝く農山村」を目指す。構造的な課題に対し、①すまいづくり・②ひとづくり・③しごとづくり・④循環の仕組みづくり・⑤安心な暮らしづくり・⑥関係づくりの6領域で横断的かつ総合的な取り組みを推進する。		
事業概要・ 主な経費	○すまいづくり ・空き家・空き地発掘と利活用、新規賃貸物件の開発、活用方針の検討 (事業費)1,900千円 ○ひとづくり ・高校プロジェクトの展開（魅力化、進学サポート） (事業費)1,000千円 ・子どもを中心とした学びの場づくり(事業費) 200千円 ・防災学習を兼ねた自然体験ワークショップ(事業費) 750千円 ○しごとづくり ・中学生の地域での仕事観の醸成(事業費) 1,000千円 ○循環の仕組みづくり ・食農教育推進、新規就農者支援(委託費) 2,500千円 ・すだち産地維持、営農関係人口の創出(事業費) 1,000千円 ○関係づくり ・町民向けバスツアー、先進事例視察研修、関係人口創出事業の開発、 地域メディアの開発(事業費)2,100千円 ○全領域(人件費) 26,750千円、（運営経費等） 7,800千円 		
KPI	①社会動態（+55人） ②0から14歳の子どもの数（+58人） ③15から34歳の青年の数（▲27人）		関連URL https://www.town.kamiyama.lg.jp/ https://www.in-kamiyama.jp/ https://www.youtube.com/channel/U_C9gLfMnfmgepySFt6HNoFFw

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

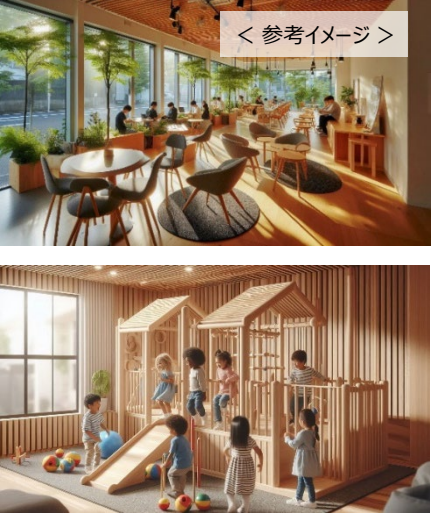
事業概要【若者の人材循環を起点としたまちづくりプロジェクト】

申請者	徳島県牟岐町					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	26,298千円 (8,766千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・牟岐町住民、牟岐町ふるさと会員、牟岐町ゆかりの若者が、牟岐町に対する「愛郷心」を共有し、「どこにいても」まちづくりに参画できる仕組みの構築 ・牟岐町ゆかりの若者が、地域と繋がり、関わりを持ち続けられるための地域内外での受け入れ環境の整備 ・若者の人材循環を起点とした地域住民の交流やコミュニティの活性化、地域課題解決に向けた取り組みの創出						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○牟岐ゆかりの若者の「第二のふるさと」創出に繋がる事業 ・「牟岐ゆかりの若者」の受け入れ環境整備（委託料）2,000千円 ・地域から提示された課題を解決するためのコーディネート経費（委託料）2,100千円 ・セミナー等の開催経費（委託料・手数料）500千円 ○牟岐ゆかりの方など人材の交流促進に繋がる「牟岐の場」の創出 ・「牟岐の場」を起点に人材の交流促進につながる企画経費実施に係る経費（委託料及び手数料）1,800千円 ・地域課題解決を目指す企画等の実施（手数料）500千円 ○デジタル・アナログ媒体を活用した情報発信 ・情報発信経費（委託料及び手数料）1,866千円					  	
地域の多様な 主体の参画	NPOが若者支援や地域・大学との連携を担い、大学が事業の進捗や効果測定を実施、新聞社が情報発信を担う。 各主体が定期的に意見交換や課題の抽出・改善策の検討を行い、地域の多様な声やニーズを事業内容に反映しながら、持続可能なまちづくりを推進する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①牟岐町に滞在しながら、地域と繋がり、地域活動に参加した大学生・若手社会人の数（+30人） ②牟岐町ゆかりの若者、牟岐ふるさと会を起点に起きたプロジェクト数（+15件） ③牟岐の場創出件数（+13件） ④地域体験型のふるさと納税返礼品の登録件数（+12件）

事業概要【うみがめ博物館「カレッタ」を拠点とした地域再生事業】

申請者	徳島県美波町						初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	662,806千円 (203,296千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	・美波町の観光資源である「うみがめ博物館カレッタ」を美波町や周辺市町村、徳島県が掲げる「サステナブルツアー」の拠点として改築することにより、町全体の滞在時間と消費額の増加を図る。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	博物館の全面リニューアルを行い、入館者数を5万人まで増やすことで町全体の来訪者数の増加を実現する。 【建築物整備経費】 建築工事費35,100千円 設計監理費2,104千円 【設備整備・用地造成等経費】 機械等設備工事費97,038千円 設計監理費5,818千円 外構工事54,065千円 設計監理費3,241千円 【備品経費】 備品購入費5,930千円							
地域の多様な 主体の参画	町はウミガメ保護条例を推進し、産卵環境の保全を町民一体となって取り組みSDGs 未来都市の拠点施設として運営する。また（一社）みなみ阿波観光局、地域の観光協会、商工会と共同して地域経済にプラスになるサステナブルツアーの造成、販売を行う。徳島県が進めるラーケーション受入れの環境整備を行うと同時に、地元の小中高生徒が行き来できる環境をつくり環境学習の拠点として活用する。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サステナブルツーリズム等の参加者数（+50人） ②博物館の入館者数（+18,000人） ③町内宿泊者数（+6,000人） ④新規起業家数（+18人）

事業概要【（仮称）藍住町世代間交流施設を中核とした持続可能なまちづくり推進事業】

申請者	徳島県藍住町						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,990,000千円 (80,000千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・老人福祉センター「藍翠苑」及び勤労女性センターを複合化するとともに、新たな施設機能を付加した（仮称）藍住町世代間交流施設を整備する。この拠点を中核として地域コミュニティの再生と活性化を図り、町や地域に関わる住民が主体的にまちづくりに参画し、全世代が活躍できる魅力的なまちづくりを実現する。これにより、町外流出の抑制や移住者の増加を図り、人口減少の抑制に寄与することを目的とする。							
事業概要・ 主な経費	・オープンスペースやキッズスペースを設置し、多くの人が集う心地よい（自分の時間が楽しめる）空間を創出 ・オープンな多目的交流室などでコミュニティ活動できる環境を整え、施設に訪れた人の興味・関心を促す。 ・活動したい人をサポートできる体制を整え、自ら行動を始める人や団体を後押しする。 【拠点整備事業経費】 ○（仮称）藍住町世代間交流施設整備に係る設計 ・設計業務 80,000千円 ※経費内訳はR7年度事業費						< 配置計画案 >  < 参考イメージ > 	
地域の多様な 主体の参画	産官学金労言及び住民団体から情報やアイデアを提供いただき、利用者目線での施設等の利活用やイベント開催等、事業内容への反映に取り組む。						KPI	①年間来館者数 （+42,000人） ②（仮称）藍住町世代間交流施設で定期的に活動する地域コミュニティの数 （+58団体） ③人口の増減数 （▲288人）